



建設技 第 3273 号
平成 30 年 10 月 30 日

株式会社 中野建設 様

佐賀県知事 山口 祥義



建設材料試験成績書について(通知)

平成 30 年 9 月 10 日付けで依頼された
アスファルト混合物事前審査制度 試験の結果は、別紙のとおりです。

平成 30 年 10 月 30 日

建設材料試験成績書

平成 30 年度

試験名 アスファルト混合物 事前審査

調査名 自 家 用

合材の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物

MG-13 (50) 改質 I 型

プラント名 (株) 中野建設 鹿島合材工場

依頼者名 株式会社 中野建設

佐 賀 県

事前審査認定アスファルト混合物（一般・耐流動混合物 [バッチ式] ）用 総括表

建設技第	3273 号		有効期間	平成 30 年 10 月 30 日 ～平成 31 年 10 月 29 日		
依頼者名	株式会社 中野建設					
混合物の名称	密粒度ギャップアスファルト混合物（最大粒径13mm）MG-13（50）改質I型					
使用Asの名称	改質アスファルトI型		Asメーカー	ニチレキ(株)		
使用骨材の室内配合・産地			現場配合			
骨材名	配合比(%)	成績書番号又は会社名	種別	配合比(%)	計量値(kg)	
6号碎石	61.5	平成30年1月9日 建設技第5035号	3BIN	55.6	556	
粗砂（海砂）	12.6	平成30年5月22日 建設技第1121号	1BIN	32.8	328	
細砂（海砂）	19.0	平成30年2月20日 建設技第5930号				
石粉	6.9	福岡県田川市大字弓削田2803番地の1 船尾鉱山（株）	石粉	6.4	64	
			ダスト			
			アスファルト	5.2	52	
計	100.0		計	100.0	1000	
通過 質量 百分 率 (%)	ふるい目	室内配合	現場配合	確認抽出試験	粒度範囲	
	53 mm				—	
	37.5 mm				—	
	31.5 mm				—	
	26.5 mm				—	
	19 mm	100.0	100.0	100.0	100	
	13.2 mm	99.9	98.1	100.0	95～100	
	4.75 mm	38.6	43.1	40.4	35～55	
	2.36 mm	37.2	38.9	37.1	30～45	
	600 μm	28.6	25.5	27.1	20～40	
	300 μm	22.8	20.9	19.7	15～30	
	150 μm	12.7	10.5	8.3	5～15	
75 μm	6.4	6.8	4.9	4～10		
		室内配合	現場配合	確認試験	基準値	
アスファルト量	(%)	5.2	5.2	5.31	4.5～6.5	
安定 試験	密度	(g/cm ³)	2.439	2.437	2.410	—
	理論密度	(g/cm ³)	2.547	2.547	2.547	—
安定 試験	空隙率	(%)	4.2	4.3	5.4	3～7
	飽和度	(%)	74.5	74.1	69.3	65～85
安定 試験	安定度	(KN)	10.94	11.09	14.87	4.90以上
	フロー値	(1/100cm)	30	30	31	20～40
動的安定度	(回/mm)	—	—	6000以上	3000以上	
基準密度	(g/cm ³)	—	2.437	—	—	
混合物出荷目標温度		170±10℃				
摘要	動的安定度が6000回/mmを超えている場合は、6000回/mm以上と報告をしています。（「舗装調査・試験法便覧[第3分冊][3]-53ページ」による）				署名者 技術管理者 	

加熱アスファルト混合物 室内配合試験 結果表

調査名：自家用

依頼者名：株式会社 中野建設

施工場所：

試料の種類：密粒度ギャップアスファルト混合物（最大粒径13mm）

（呼び名） MG-13 (50) 改質I型 （ ）内数字は室内配合試験時の突固め回数です。

1. 合成粒度

ふるい目の開き	53mm	37.5mm	26.5mm	19mm	13.2mm	4.75mm	2.36mm	600 μ m	300 μ m	150 μ m	75 μ m
合成粒度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	38.6	37.2	28.6	22.8	12.7	6.4
粒度範囲(%)	100	100	100	100	95~ 100	35~ 55	30~ 45	20~ 40	15~ 30	5~ 15	4~ 10

2. 示方配合（質量百分率）

材料の種類	S-40 (3号)	S-30 (4号)	S-20 (5号)	S-13 (6号)	S-5 (7号)	スクリー ニングス	粗砂 (海砂)	細砂 (海砂)	フィラー	アスフ ァルト	合計
配合率(%)				58.4			11.9	18.0	6.5	5.2	100.0

3. マーシャル性状

項目 (単位)	室内密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)
試験結果	2.439	4.2	74.5	10.94	30
基準値	—	3~7	65~85	4.90以上	20~40

4. 示方配合理論密度(g/cm³) = 2.547

摘 要

署名者

技術管理者

安慶
浩

使用材料総括表 (1)

1. 使用材料の種類及び産地等

使用材料	産地及び購入先	備考
S-13(6号)粒径13~5mm	多久市東多久町大字納所4624-1 (株)タニグチ	平成30年1月9日 建設技第5035号
粗砂 (海砂)	長崎県壱岐市石田町 沖合 (株)有明商事	平成30年5月22日 建設技第1121号
細砂 (海砂)	長崎県長崎市神浦上道徳 地先 (株)有明商事	平成30年2月20日 建設技第5930号
フィルター	福岡県田川市大字弓削田2803番地の1 船尾鉦山 (株)	成績書
アスファルト	ニチレキ(株)	成績書

2. 使用アスファルトの品質試験結果表

種類		改質アスファルト I 型	
項目	[単位]	試験結果	標準的性状
針入度 (25℃)	1/10mm	56	40以上
軟化点	℃	54.5	50.0以上
伸度 (7℃)	cm	53	30以上
伸度 (15℃)	cm	—	—
引火点	℃	322	260以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.01	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	78.6	65以上
タフネス (25℃)	N・m	13.5	5.0以上
テナシティ (25℃)	N・m	8.3	2.5以上
—	—	—	—
—	—	—	—
密度 (15℃)	g/cm ³	1.031	試験表に付記
最適混合温度範囲	℃	167~173	試験表に付記
最適締固め温度範囲	℃	152~158	試験表に付記
(備考)			
ガムファルトS			

舗装調査・試験法便覧 **ホイールトラッキング試験**

試験年月日 平成 30年 10月 24日

調査名：自家用
 施工場所：
 製造会社名：
 依頼者名：株式会社 中野建設
 混合物の種類：密粒度ギャップAs混合物 MG-13(50)改質I型
 混合物の基準密度(g/cm³) 2.437 供試体の作製場所 室内 換算係数 C₂= 1.0

試験条件	上載荷重 (N)	686	60℃接地圧 (MPa)	0.629~0.632
	試験温度 (℃)	60±0.5	走行回数	42回/分
	走行方法	クランク	換算係数 C ₁ =	1.0

供試体番号		1	2	3	平均
(1) 空中重量 (g)		10974.5	11004.7	10982.4	
(2) 水中重量 (g)		6528.4	6550.5	6510.1	
(3) 表乾重量 (g)		11010.2	11034.1	11008.4	
(4) 供試体体積 (cm ³)	(3)-(2)×1	4481.8	4483.6	4498.3	
(5) 供試体密度 (g/cm ³)	(1)/(4)	2.449	2.454	2.441	2.448
(6) 締固め度 (%)	(5)/基準密度×100	100.5	100.7	100.2	100.5
変形量 (mm)	(7) d30	0.97	1.12	0.99	
	(8) d45	1.06	1.22	1.08	
	(9) d60	1.11	1.29	1.14	
(10) 変形量の差 (mm)	(9)-(8)	0.05	0.07	0.06	(11) 0.06
(12) 動的安定度(DS・回/mm)	$\frac{15}{(10)} \times 42 \times C_1 \times C_2$	12600	9000	10500	
(13) 平均動的安定度(DS・回/mm)	$\frac{15}{(11)} \times 42 \times C_1 \times C_2$				10500
(14) 平均値との差の平方	((13)-(12)) ²	4410000	2250000	0	
(15) 標準偏差	$\sqrt{\sum (14)/(n-1)}$				1825
(16) 変動係数 (%)	(15)/(13)×100				17.4
圧密変形量 (mm)	d ₀	0.91	1.01	0.90	0.94
時間-変形量曲線の形状		変曲型	変曲型	直線型	
備考					